

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく

令和5年度
地球温暖化対策実行計画
報告書

令和6年8月

柳泉園組合

(1) 温室効果ガスの総排出量

令和5年度の本組合の事務事業における温室効果ガスの排出に係る活動量及び温室効果ガス排出量は、次の表のとおりです。

活動量

区 分	単 位	活動量	備 考
灯油	ℓ	1,600	
都市ガス	m ³	76,827	標準体積換算係数 0.967
購入電気	kWh	891,302	排出係数 0.464kg-CO ₂ /kWh
ごみ焼却	t	67,304	プラ比率18.1%、含水率47.1%
ガソリン	ℓ	3,626	
軽油	ℓ	2,609	
ガソリン乗用車	km	5,464	2台(ステップワゴン、フィット)
ガソリン普通貨物車	km	93	1台(ハイラックス)
ガソリン軽乗用車	km	2,446	1台(アルト)
軽油普通貨物車	km	2,255	4台(パッカー、手選、直投、バキューム)
受変電設備絶縁ガス	kg-SF ₆	360	変圧器、開閉器、遮断器等の使用

温室効果ガス排出量

区 分	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	メタン (kg-CH ₄)	一酸化 二窒素 (kg-N ₂ O)	ハイドロフル カーボン (kg-HFC)	六フッ化硫黄 (kg-SF ₆)	二酸化炭素 換算量 (kg-CO ₂)	割合 (%)
温暖化 係 数	1	28	265	1,300 (HFC134a)	23,500	—	
灯 油	3,983	—	0	—	—	3,983	0.02
都市ガス	151,325	—	—	—	—	151,325	0.76
購入電気	409,469	—	—	—	—	409,469	2.06
ご み 焼 却	18,288,072	—	—	—	—	18,288,072	91.95
	—	64	—	—	—	1,792	0.01
	—	—	3,816	—	—	1,011,240	5.09
ガソリン	8,418	—	—	—	—	8,418	0.04
軽 油	6,744	—	—	—	—	6,744	0.03
公用車 走 行	—	0	0	0	—	0	0
絶 縁 ガ ス	—	—	—	—	0.36	8,460	0.04
合 計	18,868,011 (kg-CO ₂)	64 (kg-CH ₄)	3,816 (kg-N ₂ O)	0 (kg-HFC)	0.36 (kg-SF ₆)	19,889,503 (kg-CO ₂)	100

(2) 温室効果ガス削減量

基準年度と比較したときの令和5年度削減量及び削減率は、下の表の通りです。

総排出量に対する削減量及び削減率

区 分	(基準年度) 平成26年度	【参考値】 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(目標年度) 令和7年度	目 標 設定値
排 出 量 (kg-CO ₂)	25,068,271	29,404,835	24,475,402	24,768,534	19,889,503			25,068,271 以下
削 減 量 (kg-CO ₂)		-4,336,564	592,869	299,737	5,178,768			
削 減 率 (%)		-17.3	2.4	1.2	20.7			

一般廃棄物の焼却処理に係る削減量及び削減率

区 分	(基準年度) 平成26年度	【参考値】 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(目標年度) 令和7年度	目 標 設定値
排 出 量 (kg-CO ₂)	24,433,596	28,757,888	23,988,767	23,793,293	19,301,104			24,433,596 以下
削 減 量 (kg-CO ₂)		-4,324,292	444,829	640,303	5,132,492			
削 減 率 (%)		-17.7	1.8	2.6	21.0			

その他の事務事業に係る削減量及び削減率

区 分	(基準年度) 平成26年度	【参考値】 令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	(目標年度) 令和7年度	目 標 設定値
排 出 量 (kg-CO ₂)	634,675	646,947	486,635	975,241	588,399			634,675 以下
削 減 量 (kg-CO ₂)		-12,272	148,040	-340,566	46,276			
削 減 率 (%)		-1.9	23.3	-53.7	7.3			

■ 令和5年度における温室効果ガス排出量についての報告

令和3年3月に柳泉園組合における地球温暖化対策実行計画が策定され、平成26年度を基準年度とした計画を令和3年度から実施している。今回、令和5年度における温室効果ガス排出量を算定したので報告する。

総排出量の算定結果としては 19,889,503 kg-CO₂となり、基準年度より 5,178,768 kg-CO₂ (20.7%) 減少となった。

内訳は、一般廃棄物の焼却処理における排出量は、19,301,104 kg-CO₂となり、基準年度より 5,132,492 kg-CO₂ (21.0%) 減少している。また、その他の事務事業に係る排出量は588,399 kg-CO₂となり、基準年度より 46,276 kg-CO₂ (7.3%) 減少している。

総排出量の減少理由は、ごみ焼却量の内、プラスチック比率が減少したためである。

■ 令和5年度におけるごみの総搬入量及び焼却処理量

令和5年度におけるごみの総搬入量は、69,480 t となっており、基準年度である平成26年度の総搬入量 72,666 t に対し、3,186 t (4.4%) 減少している。内訳は、可燃ごみが 3,473 t 減少し、不燃ごみが 509 t 減少し、粗大ごみが 797 t 増加している。

焼却処理量については、基準年度である平成26年度の焼却量 70,889 t に対し、令和5年度は 67,315 t となっており、3,574 t (5.0%) 減少している。内訳は、可燃ごみが 3,473 t 減少、粗大ごみ等の可燃物量が 46 t 減少、軟質系プラスチック類等可燃物が 25 t 減少、し尿汚泥が 30 t 減少している。

粗大ごみの搬入量増加に対して、粗大ごみ等の可燃物焼却処理量が減少している理由は、粗大ごみ等の可燃物量に含まれる可燃性粗大ごみが、基準年度である平成26年度に比べ増加しているものの、手選別可燃物、リサイクル夾雑物及び古紙布夾雑物については減少しており、合計量としては基準年度である平成26年度を下回ったため。

■ 令和5年度における地球温暖化対策に伴うLED照明交換計画実施状況について

令和5年度における地球温暖化対策に伴うLED照明交換計画実施状況について、施設管理課では管理棟1階事務室において60台、構内外灯において8台、厚生施設プール棟において7台、技術課ではクリーンポート炉室において225台、クリーンポート灰ピットにおいて6台、資源推進課ではリサイクルセンター及び粗大ごみ処理施設において26台、合計して332台のLED照明器具への交換工事を実施した。